

津房地区の皆様へ
まちづくり協議会の事務局は
月・火・木の週三日開いています
ご意見などお寄せ願います。

津房地区まちづくり協議会だより

～心かよい 人が輝く ふるさと つぶさ～

第63号 令和4年12月
発行：津房地区まちづくり協議会
事務局：津房地区公民館内
電話：48-2001

樺の木林道の維持管理事業

樺の木山を横断する林道の維持管理事業（市よりの受託事業）、ことしは11月29、30日と12月1日の3日間に実作業を行いました。

例年通り、区長各位・当協議会役員・昨年ご参加頂いた有志各位を中心に参加を募ったところ、26名の方より合計41人・日のご応募がありました。

（ことしは若手の地区デビュー者5人の応募があり、頼もしい限りです）

初日の小雨交じり、2,3日目の厳寒と、ことしは3日間とも天候に恵まれず、たいへんハードな作業環境となりましたが、勇士各位の奮闘により、予定通りの日程で、例年と変わらぬ出来映えに仕上げてもらえました。

出役頂いた各位には本稿にて御礼申し上げます。



2日目メンバー



3日目メンバー

食事づくりでご不便をされている高齢者世帯へ夕食用の手作り弁当をお届けする事業を実施しました。

地区出身者や当協議会の活動に賛同された方々が、宇佐市のふるさと納税制度を利用して当協議会へお寄せ頂いた応援金を活用しての事業です。

今回は北部と中央集落を対象に、75歳以上の独居、および、全員80才以上の世帯の方々94人へ各集落の区長さんのご協力によりお届けしました。

女性部会員と女性ボランティアGrから成る11人のメンバーで調理した栄養バランスの良いレシピが9割に仕切られた弁当箱に詰められた「まごころ弁当」は今回も好評を頂けた筈です。

年明けには南部、西部集落を対象にお届けしますので、該当世帯の方はお楽しみにお待ちしております。



彩鮮やかな9割の弁当盛り付け作業中



* 高齢世帯などへお弁当をお届けしました *



津房探訪ツアー 〈一般参加者向け〉

津房小学校の児童を対象にした探訪ツアーに続き、11月26日に一般参加者向けのツアーを実施しました。

ツアーコンダクターをお願いした松本集落・荷宮さんご夫婦を含めて計20名の参加のもと、徒歩5km、車移動10kmのコースを巡りました。

コースは協議会だより61号でご案内のとおり、松本営農センターを起点に、ひょうたん池、なた落としの滝、松本城址、南光寺などの西部の史跡を巡るもので、今回の目玉スポットとして、松本と釜の口両集落の境にある“茶臼山”の頂上にあつたとの説がある「松本城址」が挙げられますが、山城には欠かせない急峻な崖や人工物と思われる塁も観察され、郷土史家による更なる調査を期待したいとの参加者の希望がありました。

津房の隠れた名所発掘の活動として、当協議会でもソノ筋に当たってみることにします。

出発前・元気なうちの集合写真と由緒聴講中



去る11月22日、佐伯市の「鶴見地域新たな地域コミュニティ組織を考える会」のみなさんと関係行政の方々から成る17名のご一行が当協議会の視察に来られました。

漁業で有名な鶴見地域でも、当地区同様に人口減少、高齢化、生活インフラの衰退が進行中とのことで、住民主体の「新たな地域コミュニティづくり」を通じて地域の活性化を図ろうと、活動をスタートされたばかりで、その参考にされたいとの趣旨でした。

菅原会長と事務局員で当協議会の取り組み内容をご紹介したあと、意見交換の場では、地域代表と行政サイドの両方の方々より多くのご質問が寄せられ、「協働の取り組みで地区の活性化を！」との熱意が感じられました。

今後のご活躍を期待しながらバスをお見送りしました。



佐伯市・鶴見地域からの視察来訪

花の寄せ植え教室 開催しました

前号で参加者を募りました標題のイベント、例年に比べ若干少ない9名のご参加のもと開催しました。

地区公民館前に集合後、材料提供をお願いしたフラワーうささんのビニールハウスに移動し、先生役の久野マネージャさんと同社の菅原会長のアドバイスを受けながら、春を先取りする花10種類を各自の好みに従ってアレンジした寄せ植えポットを小1時間掛けて仕上げました。

新春の玄関先を華やかに飾ろうと、いずれの傑作もそれぞれの作者が嬉しそうに持ち帰りました。



* 作品を前に記念撮影 *



楢本集落の千福技建（有）大保 均氏より津房温泉の館内に祀られている薬師観音さま用に、賽銭箱を寄贈いただきました。

温泉入浴による健康増進に感謝してご利用者から寄せられる浄財をお受けするのにも相応しい、屋久杉製のたいへん立派なものです。



寄付等のご紹介

